

製品名称	スラット チェア	カテゴリ記号/エントリーNo.	J-3 / 2351
		サステナブル・プロダクト賞エントリー	有 ・ 無

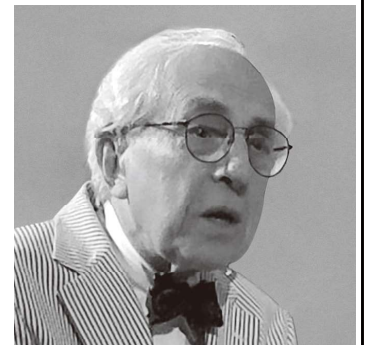
応募者名:株式会社カンディハウス



スラット

Design: リチャード・シュルツ

20世紀を中心に活躍したプロダクトデザイナー、リチャード・シュルツ氏が1984年にデザインした椅子を復刻。細長い木のパーツをスチールパイプで構成された斬新なデザインで、腰掛けるとわずかに背がしなるやさしい掛け心地の一脚です。



スラット チェア

「スラット」は、20世紀を中心に活躍したプロダクトデザイナー、リチャード・シュルツ氏が1984年にデザインした椅子です。カンディハウスの海外拠点「CondeHouse U.S.A.」が、ブランド構築に向けた海外限定アイテムとして発表。日本でも1996年から数年間販売されましたが、その後廃番となっていました。シュルツ氏は自由な発想力が魅力で人間的にも大らか。カンディハウスの現地スタッフとも信頼関係を築いていましたが、以後仕事を依頼する機会には恵まれませんでした。

氏が亡くなったとの知らせを受けたのは2021年のこと。私たちは、敬意を表すべく「スラット」の復刻プロジェクトを開始しました。デザインはそのままに、現在の技術を生かして安定感と強度を高める見直しを行いました。細長い木のパーツとスチールパイプで構成されたこの斬新なデザインは、シュルツ氏を日本に招いて各地を案内した際に目にした、竹細工の折りたたみ型のおしぼり受けからインスピレーションを得たそう。腰掛けるとわずかに背がしなり、見た目の印象よりもやさしい掛け心地です。ホテルのロビーや美術館のホールなどでオブジェ的な存在感を発揮するほか、バルコニーのようなインテリアとエクステリアの中間領域にもマッチするデザインです。